



# 避難訓練

## 活動のねらい

●救命胴衣を正しく着用して避難訓練を行い、有事の際の行動様式を知る。

【場 所】 活動室→3階後部甲板(荒天時は学習室)

【時 間】 オリエンテーション終了後、約20分間

## 主な活動の流れ

フ  
ロ  
ー  
テ  
ィ  
ン  
グ  
ス  
ク  
ー  
ル

### ①オリエンテーションの時間に救命胴衣の着用方法等を聞く。

※所員が救命胴衣の着用方法や後始末の方法、避難訓練に臨む心構え等を指導する。

### ②活動室に移動し、訓練の開始を知る。

※放送指示を静かに聞かせ、避難場所を知らせる。

### ③救命胴衣を着用する。

※救命胴衣を取り出し、速やかに着用させる。

※正しく着用できているか確認する。  
(ひもはしっかり結べているか。ファスナーは最後まで閉めているか。)

### ④避難を開始する。

※各班担当の指導者の指示で整列させ、避難場所に移動させる。

※「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」の約束を守って、真剣に行動させる。

※各班担当の指導者が先頭で避難し、最後尾にも指導者がつく。  
(最後尾の指導者は児童が残っていないことを確認する。)

### ⑤整列する。

※避難場所に整列させ、人数確認する。

※最初に来た班を中央に整列させ、座らせる。その後、順次その列の左右に整列させ、座らせる。

※各班担当の指導者で人数確認をし、総括責任者に報告する。総括責任者は、全員が集合したことを所員に報告する。

### ⑥講評を聞く。

※総括責任者が講評をする。

(所要時間・訓練中の様子・静かにできたか等)

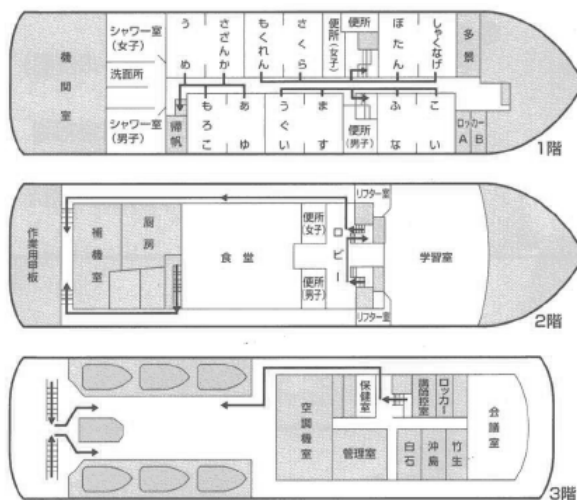
所員が補足説明をする。(救命設備や避難方法等)

### ⑦活動室に戻り、救命胴衣の後始末をする。

※戻るときは避難経路を逆戻りし、避難経路を再確認させる。

※救命胴衣をきちんと後始末させ、収納場所に正しく入れさせる。

※各班担当の指導者が、正しく後始末できているか確認する。



(避難経路図)

学習室へ避難する場合  
こいふな・しゃくなげ・ぼたんは船首側の階段、その他の部屋は中央の階段を使って、学習室へ移動する。学習室入口付近は混雑するため、窓側から整列し、座らせる。

